

TO THE NEXT STAGE

狭山市立中央中学校
進路だより 第1号
令和5年5月15日(月)

人生初の進路選択！ ～自分の道は自分で決めよう～

いよいよ中学3年生。受験生と呼ばれるようになって、1か月余りが過ぎました。クラスの様子はどうか？ 授業は前向きに取り組んでいますか？ そして進路について考える時間はありましたか？ 中学3年生は義務教育最後の年であり、多くの人が人生初の進路選択を行う大切な1年です。進路の選択は、家族とよく相談したり、多くの人からのアドバイスを受けたりしながら、最終的には自分自身で決断するものです。中学を卒業し、次のステージへ飛び立つための準備をしていきましょう。来年の春、皆さんが自分の選んだ進路に向かって、自信と誇りを持って歩いていけるように、中央中の先生方で皆さんをサポートしていきます。

進路選択を進めて行く上で大切なことや注意点、高校、専門学校などの学校説明会や体験入学などのお知らせ、入試に関する日程や手続き方法などの連絡・情報を、この進路だよりでお伝えしていきます。進路だよりは「生徒」と「保護者」の両者を対象に発行していきます。生徒に詳しく説明したことなどは、概略のみを載せる場合もあります。お子様から学校の様子を聞き、親子で話し合うきっかけとしてもぜひ利用して下さい。

進路選択に向けて、今やるべきことは？

1. 学習にしっかり取り組み、基礎的な力をつけておこう。

授業を大事にしましょう。入試には中学校3年間で学んだこと(教科によっては小学校も)が出題されます。授業には真剣に取り組む、家庭学習の習慣をきちんと身につけておきましょう。その日暮らしてではなく、いつまでに何をやるのかを計画して、実行していくのです。

例えば…「1学期には1, 2年生の復習を終える」

「夏休みには1, 2年生の基礎固めや応用力をつける。3年1学期の復習をする。」

「2学期には3年1学期の基礎を固める。過去問に取り組み、応用力をつける。」

「3学期には3年間の総仕上げをする」

などです。これはあくまでも参考なので、できるだけ自分で計画を立てて実行していくと良いでしょう。そして、定期テストや会場テストなどで自分自身の力を確認しておきましょう。自分の苦手な部分を発見し、克服するチャンスです！ また、英語検定や漢字検定など、資格試験にも挑戦してみてください。

2. 自分の将来について考え、将来の進路の希望をはっきりさせておこう。

自分自身のことについてじっくり考えてみましょう。今考えている将来の姿が実現するかどうかは分かりませんが、考えることは大切です。漠然と会社に入って働くというのではなく、「どんな仕事に就きたいか」まで考えてみましょう。

3. 学校でのさまざまな活動に積極的に取り組もう。

学校でのさまざまな活動（係・委員会、行事、部活動など）に積極的に取り組むことによって、自身の能力や適性、興味関心がどこにあるかが分かります。今のうちから、色々なことを経験しておくことも大切です。今までと違った自分を 見つけられるかもしれません。

4. 家族とよく話し合おう。

家族との話し合いを早くから持ちましょう。「どこを受験する」といった話だけではなく、将来の夢や親の願い、自分自身の置かれている立場などを早い時期から話し合っておきましょう。経済面や転居など、家庭によって考えなくてはならないこともあります。奨学金などが必要な場合は、早めに申し込んでください。学校に募集が来たものは、進路だよりでもお知らせします。

~~~~~ お願 い ~~~~~

今後も進路だよりや教室の進路コーナー、廊下掲示などで学校説明会や体験入学のお知らせなどをお伝えしていきますが、事前に申し込みが必要な学校があります。学校説明会や面談などの予約が取りにくい学校もあるようです。よく情報を確認し、早めに予約を取るなど、計画的に進路選択の準備を行ってください。志望校が具体的に決まっていなくても、実際に自分の目で見たり聞いたりすると、今後の進路選択の参考にもなりますので、ぜひ説明会や体験入学などに参加しましょう。